

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校新学科検討委員会
第 1 号 平成 14 年(2002 年)6 月 11 日(火)

神戸大学との高大連携講義、正式実施決まる！

水曜日（原則）の午後 5 時より 90 分授業、神戸大学で行なわれます

6 月 7 日、神戸高校本校にて、神戸大学との高大連携特別講義について覚書文書が神戸大学と交わされた。この文書の交換により、正式に高大連携特別講義が本年 2 学期より予定通り実施されることになりました。

この高大連携特別講義の対象生徒は、神戸高校第 2 学年の理数コース(理系コースも含む)です。実施場所は、神戸大学のキャンパスで、大学生になった気分が味わえる授業が行なわれます。

この講義は大学と高校の教育とをつなぐ機会として設けられ、自然科学への興味関心や理解・造詣を深めさせるとともに、生徒自らが自分の適性を見極め将来の進路決定を助ける目的で設置されたものです。

講義を担当されるのは神戸大学の理学部、工学部、農学部の研究の先端を担っている先生方です。全 12 回の講義を通じて、神戸高校生のために、自然科学全般について分かり易く授業(内容詳細は下記参照)をしていただけます。**なお、この特別講義の定員は 40 名で、校内募集は後日行ないます。**

この連携特別講義は、原則として水曜日の 17:00 より 18:30 まで、90 分間、神戸大学のキャンパスでおこなわれます。(学校行事・定期考査などにより、一部の例外有)。

「高校生のうちに何を学んでおかなければならないのか」、「大学でどのような勉強をするのか」などの学習の指針のほか、現在の先端研究の成果なども、連携講義のなかで紹介されるものと思っています。

なお、第 1 回(オリエンテーション)は 9 月 25 日(水)に、連携講座についてのガイダンスがおこなわれます。講義の日程、内容の詳細については次のように予定されています(下記参照)。

内容は、理学部、工学部、農学部の 3 学部がそれぞれ担当します。

理学部担当講座 コンピュータが招く新しい理学の世界

「ぬり絵の数学 100 年前と現在」(ウェイン・ラスマン 助教授)
「サイコロで再現する素粒子の世界」(川越 清以 助教授)
「コンピュータでみる生体内分子機械のしくみ」(高田 彰二 助教授)
「有限の世界・有限の生:その数理解理解に向けて」(郡司 幸夫 教授)

工学部担当講座 エンジニアリングの目指すもの

「情報システム化技術と建築構造」(谷 明勲 助教授)
「電力システムと超電導応用」(大澤 靖治 教授)
「電力供給と地球環境保護」(神吉 博 教授)
「高圧力の科学と技術」(田中 嘉之 教授)

農学部担当講座 高校生のための最新農学教育研究への導入

「動物の精子と卵子」(宮野隆教授)
「浸透水と土粒子の力学的相互作用、水利施設の安定設計」(田中 勉 教授)
「野生種を用いた稲育種にむけて」(石井 尊生 助手)
「生命機能を調節する因子」(金沢 和樹 教授)

第 1 回	9 月 25 日(水)	ガイダンス
第 2 回	10 月 9 日(水)	工学部担当
第 3 回	10 月 16 日(水)	工学部担当
第 4 回	10 月 30 日(水)	工学部担当
第 5 回	11 月 6 日(水)	工学部担当
第 6 回	11 月 13 日(水)	農学部担当
第 7 回	11 月 20 日(水)	農学部担当
第 8 回	11 月 27 日(水)	農学部担当
第 9 回	12 月 12 日(木)	農学部担当
第 10 回	12 月 19 日(木)	理学部担当
第 11 回	1 月 15 日(水)	理学部担当
第 12 回	1 月 22 日(水)	理学部担当
第 13 回	1 月 29 日(水)	理学部担当